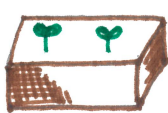


かめまるいもの栽培暦


手間いらず
無農薬でもOK
ただし...
イモイシには注意

記号：■元肥施用・耕耘・畝立て・マルチ ○定植 — 生育 ▲蔓切 ◎収穫 ~~~ 貯蔵・販売
 施肥：基肥に堆肥2~4kg/m² 石灰40g/m² ヨウリン40g/m² 化成(ロング)40g/m²

栽培型	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
露地マルチ地這い栽培		~~~~				■ 元肥	○ 定植	—————				▲ 蔓切	◎ 収穫	~~~~ 販売

時期	作業の種類	技術の内容	技術上の注意事項
	元肥施用	堆肥、石灰、ようりん 緩効性肥料	一般的にはセルカ(蛎殻)や粒状炭酸苦土石灰を使用する。酸性の強いほ場では定植の2週間以上前に生石灰で酸度矯正をする。肥料については、前作の肥料分が残っているようであれば無肥料でよい。
	畝立て・マルチ	畝間120cm	マルチは除草の手間を省くため全面とする
	定植	株間40cm 	柵を作らず放任地這いとする場合は、株間を50cmにする
	ネット張りも 同時期に		
	収穫	時期 <i>7センチには2株が目です</i>	11月下旬から12月上旬頃に収穫を終える。収穫が遅れて低温にあえば腐敗する。
		乾燥	収穫後速やかに乾燥する。乾燥が遅れると水気がある部分から黴びて腐敗する
	貯蔵	温度	初殻内で保温(8℃程度)貯蔵し収穫後2週間位から随時販売する。水滴を付けないことと保温が秘訣。

水やりは...
夏は土の表面が乾いたら



特産物を考える会